

二川小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「ぼくたち わたしたちのふるさと 二川」を活動のテーマとして、ESDを地域の人とのつながりを深めて、歴史や文化、防災について探究する取り組みと捉え、今日的課題を自分のものとして把握し、解決に向けて自ら動き出せる子どもの育成を目標とした。コロナ過のもと、具体的には、地域の行事への関わり、防災に関わる方たちとの交流を柱に、本年度は、①二川宿本陣まつりに係わる学習、②防災に係わる学習を行った。

・活動の実際

① 二川宿本陣まつりに係わる活動（6年）

東海道の宿場があった本校区では、大名行列を再現した「二川宿本陣まつり」が毎年11月に開催されている。本年度も、総合的な学習の時間の単元に位置づけ、本陣まつりに関する学習を展開した。具体的には、本陣の成り立ちや当時の人々の生活の様子などの史実をおさえたり、また、その時代を生きた人々の思いや願いを想像できるようにはたらきかけたりした。

実践を通して当時の人々の思いを受けとめることができ、来年度の本陣まつりにつなげることもできた。このことを現在の5年生に伝え、来年度にむけて主体的に参加できるようにしたいと考えている。あわせて、地域の人たちとの結びつきも実感できるように、地域一体となった行事としてこの二川宿本陣まつりをさらに発展させていきたい。

②防災に係る学習（4年）

日本各地で起きている大地震における災害の怖さを、メディアを通して知った子どもたちは、主に総合的な学習の時間において、自分を守るための備え（自助）みんなの命も守るための備え（共助）が大切であることを学んだ。

2月に行った学習発表会では、保護者に対し、防災に関する学びの成果と実際に行うことができる災害の対策と対応について発表した。

子どもたちの姿から、災害に対する安全意識と実践力の高まりを感じた。加えて、二川校区全体の安心・安全な暮らしにつながっていることも感じた。